

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



正確かつ迅速な
診断を目指します

病理診断・臨床検査センター長 柳田 恵理子

【特集】

病理診断・臨床検査センターのご紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 腎臓内科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

特集 病理診断・臨床検査センターのご紹介

いつもお世話になっております。病理診断科では患者さまの検体の標本を作製し、病理診断・細胞診断を行っています。最大の任務は一人ひとりの患者さまの検体に適切な病理診断・細胞診断を下すことです。正しい診断にはどのような主訴や経過で疾患が発見されるに至ったかという臨床情報が非常に重要です。当院は関係医療機関からご紹介いただく患者さまも多く、常日頃より貴重な臨床情報をご提供いただき、ありがとうございます。

さて、病理診断には正しい診断が求められていますが、がん診療においては腫瘍細胞に発現する蛋白の解析や腫瘍とその周囲環境についての免疫学的知見が集積されたことから、病名の診断だけでなく各種バイオマーカーの発現の確認が必須となっています。例えば、乳がんにおけるホルモンレセプターの発現や HER 2 蛋白の発現、肺がんにおける免疫チェックポイント阻害薬の適応のために PD-L1 蛋白の発現の検索等がこれに該当します。これに加えて、次世代シーケンサーの普及から短時間で膨大なゲノム情報を得ることが可能になり、形態診断とゲノム診断を癒合した病理診断の重要性が高まっています。治療薬への新しいアクセス方法として遺伝子プロファイル解析への期

待は高まる一方で、実際に治療薬に到達した頻度は 13.4% と言われています (2019 年国立がん研究センター)。遺伝子発現プロファイル解析の成功率を上げるために、これらの検索に耐え得る、患者さまの検体の適切な保管環境の整備や品質の高い検体の確保は病理診断科の重要な仕事であり、一層力を入れていきたいと思っています。

また、Covid-19 の影響により剖検症例の総合症例検討会の開催を昨年度は見送っていましたが、今年度より感染状況を鑑みながら開催していく予定です。

これからも病理診断や病理解剖に対し真摯に向き合い、正確かつ迅速な診断を目指し、患者さまや先生方に有用な情報提供ができるよう励んで参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

病理診断科部長
病理診断・臨床検査センター長
やなぎだ えりこ
柳田 恵理子

専門分野
病理全般
専門医・所属学会など
日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会専門医、日本病理学会認定分子病理専門医



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります



KUMAMOTO KINOH HOSPITAL **熊本機能病院**
KUMAMOTO KINOH HOSPITAL



理事長（救急科）
よねみつ こういちろう
米満 弘一郎



院長（整形外科・上肢）
なかしま ひでちか
中島 英親



副院長（脳神経内科）
わたなべ すずむ
渡邊 進

◆**貴院のアピールをお願いします**

熊本市中心部の水道町交差点から国道3号線を北に約5.5キロ、車で15分の位置にあります。予防から救急、急性期、回復期、在宅・生活期までの一貫した医療・福祉を提供するケアミックス型病院で、介護老人保健施設、指定運動療法施設等を併設しています。病院の窓からは美しい八景水谷公園と田園風景が望めます。

1981年の開院以来、名前が示すとおり、「機能回復」を目指し、マイクロサージャリーや人工関節置換術などの整形外科分野や急性期・回復期・心大血管リハビリテーションを中心に取り組んでいます。

国立病院機構熊本医療センターの救命センターやリハビリの連携では、いつも大変お世話になり、ありがとうございます。引き続き、北部地域の地域医療を頑張ってまいります。

◆**先生の趣味・お勧めスポットを教えてください**

当院の周辺は八景水谷公園をはじめ、水や温泉が豊富に湧き出すスポットが多くあります。

菊南温泉「あがんなっせ」では、美人の湯とも言われる無色透明、弱アルカリ性の炭酸水素塩泉を楽しむことができます。「バレルサウナ」も安心して「ととのう」ことができると人気です。12月にはさらにリニューアルされ新たなサウナーの聖地となるのではないのでしょうか。



◆**当院へのご要望をお聞かせ下さい**

全身管理が必要となった患者さまや併存疾患をお持ちの患者さまの緊急時におけるスムーズな受け入れに、いつもご配慮いただき、ありがとうございます。脳血管疾患、整形外科、循環器疾患の患者さまの回復期への連携を引き続きよろしくお願いたします。

これからも救急、高度医療を牽引する病院であり続けていきたいと願っております。

【**診療科目**】

整形外科 形成外科・小児形成外科 リウマチ科
皮膚科 外科 救急科 リハビリテーション科
脳神経内科 脳神経外科 循環器内科
血管外科 内科 放射線科 麻酔科 耳鼻咽喉科
消化器外科 小児科 総合診療科

【**診療受付時間**】

月曜日～金曜日 8:30～11:00 13:00～16:00

【**休診日**】

土曜日、日曜日、祝日、年末年始
ただし、救急センターは24時間体制

【**住所**】

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8番1号

【**TEL**】

096-345-8111 (代表)

【**FAX**】

096-345-8188



No. 287

医学シリーズ

腎臓内科 (No. 14)

最近のトピックス

ネフローゼ症候群について

国立病院機構熊本医療センター
腎臓内科医師よしい りゅういち
吉井 隆一

ネフローゼ症候群とは、尿に蛋白がたくさん出てしまうために、血液中の蛋白が減り、その結果、むくみが起こる病気です。血液中の蛋白が少なくなると、血管の中と外の浸透圧を同じにするために、血液中の水分が血管の外に漏出します。漏出した水分は体内に貯留するため、むくみとなって現れます。ネフローゼ症候群のうち、糖尿病などの全身性疾患が原因でネフローゼ症候群をきたすものを2次性ネフローゼ症候群といい、明らかな原因がないものを1次性ネフローゼ症候群といいます。毎年2,200人から2,700人の1次性ネフローゼ症候群の患者さまが新たに発症し、約16,000人の患者さまがいると推定されています。これまではラグビー選手や高校球児などにもネフローゼ症候群と診断された例はあるようですが、いずれも病気を克服し活躍されたようです。

●どのような症状がありますか？

むくみがひどくなると肺や心臓にも水が溜まり、ひどい場合は呼吸困難が出現する場合があります。お腹や陰嚢に溜まることもあります。尿の泡立ちや、むくみ、体重増加などが見られたらネフローゼ症候群の可能性があります。

●どのような治療がありますか？

原因によって治療法が異なりますが、多くの場合、

副腎皮質ステロイド薬や免疫抑制薬などを使います。なんらかの全身の病気（糖尿病、膠原病、血液疾患など）に伴う場合、その病気の治療に準じてお薬が決まります。

むくみに対しては塩分制限や利尿薬を使用することがあります。血栓予防に血液をサラサラにするお薬が使用されることもあります。

●どのような経過を辿りますか？

原因によって異なりますが、蛋白尿の多い方、血圧が高い方、腎臓のダメージが強い方は末期腎不全に至る可能性があります。お薬の反応が良い方の経過は悪くありません。しかし、すっかり病勢が落ち着いていても、脱水や感染などなんらかのタイミングで再発や再燃することがあります。また、お薬の反応の悪い方は末期腎不全に至る可能性があります。

ネフローゼ症候群の主な症状

尿の泡立ち



体重増加



むくみ





入院時重症患者対応メディエーターの活動紹介

令和4年度の診療報酬改定で、「入院時重症患者対応メディエーター」が導入され、5月より専任看護師として活動を開始しました。

特に重篤な状態の患者さま及びそのご家族等に対する支援を推進することを目的とし、入院時患者さま・ご家族の不安などを聞きながら、医師の説明内容を理解し、治療方針への意向が表明出来るよう多職種で支援しています。介入対象は、集中治療領域である救命救急センター・ICU・CCUに入院となる全ての患者さまです。

メディエーターとして介入し4カ月が経過しました。主にご家族対応を行っていますが、ゆっくりと不安や心配事などを話せる場をつくることができたことで、それぞれのご家族がそれぞれ違った思いを抱えており、多種多様に対応していく必要があることをとても実感しています。介入後、どのご家族からも「話を聞いてもらえて良かった。対応してくれてありがとう。」などの言葉を頂きやりがいを感じています。

お問い合わせは、地域医療連携室までお願いします。

入院時重症患者対応メディエーター 生田 春香



8/29 (月)
8/31 (水)

令和4年度診療放射線技師特定
技能派遣研修
救急放射線 (ER) セミナー 開催

放

【筆者】副診療放射線技師長：長岡 里江子

令和4年8月29～31日の3日間、令和4年度診療放射線技師特定技能派遣研修（救急放射線 (ER) セミナー）を当院にて開催しました。例年行っていたこのセミナーも新型コロナウイルス感染流行に伴い2年ほど中止となっていました。Withコロナとはいえこの状況で受講希望があるのか不安でしたが、予想を超える応募があり、例年と変わらない人数の受講生を迎えることとなりました。受け入れる施設側では異動に伴いこれまでセミナー開催を経験した技師が少なく、手探りでの準備でした。しかし、これがプログラムを見直すきっかけともなり、例年とは違った新たな内容も盛り込むことができ、受講生にとって大変満足度の高いセミナーとなったようです。一方、当院の技師も受講生からたくさんの刺激を受け、ますます、救急医療に対する熱意が高まったようにも感じます。

本セミナー開催にあたり、高橋院長をはじめご協力いただいた多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

【場所】熊本医療センター



9/1 (木)

ひとてまプロジェクト
防災の日

栄

【筆者】管理栄養士：岡田 郁香

毎年、9月1日の防災の日は非常食をつかって「ひとてま」で献立を考えます。

2022年度は、「カボチャのスープ」「ロングライフ牛乳」を使って献立を考えました。「カボチャのスープ」は、粉末のマッシュポテトで少し濃度をつけて「パンプキングラタン」としました。「ロングライフ牛乳」は「牛乳寒天」にしました。皆様のご家庭にも消費期限間近の非常食がありませんか？少し手を加えると美味しく食べる事ができますよ。

【場所】各病棟



研修医レポート

臨床研修医

たけかわ ひろつぐ
武川 広嗣



こんにちは。研修医1年目の武川広嗣と申します。宮崎大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせていただいています。研修が始まり4ヶ月ほど経ち、徐々に環境に慣れつつありますが、まだまだ先生方やスタッフの皆様にはご迷惑をおかけしております。

私は4月に腎臓内科から研修をスタートしました。最初はカルテの使い方やオーダーの仕方などもわからない状態でしたが、先生方

に手取り足取り教えていただき、大変充実した研修ができています。

腎臓内科では透析をされている患者さまも多く、体液管理や電解質の管理などを学ぶことが出来ました。また、腎機能の悪い患者さまに対する診断アプローチや治療方針なども学ぶことが出来ました。透析のためのシャント作成やカテーテル挿入などの手技も多く経験させていただくことが出来ました。ただ手技を経験するだけでなく、先生方の丁寧なご指導のもと行うことが出来たので、1つ1つの手技がとても勉強になりました。腎機能の悪い患者さまや透析患者さまでは薬剤の量や輸液管理でも悩むことが多いので、これからの研修でもしっかりと学んでいきたいと思っております。

いまだに新型コロナウイルス感染症が猛威を奮っている中、スタッフの皆様も大変かと思っております。そのような状況の中でも、我々研修医を支えてくださる皆様には大変感謝しております。まだまだ学ぶべきことも多く、これからも様々な診療科を回り研修させていただきま。ご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、日々精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

臨床研修医

たかた かずと
高田 一登



こんにちは。研修医1年目の高田一登と申します。久留米大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。研修が始まって4ヶ月ほど経ち、少しは慣れてきた部分もありますが、まだまだ至らない点も多々あり、先生方や看護師の方々、スタッフの皆様へ支えていただきながら日々頑張っています。

私は循環器内科から研修が始まり、消化器内科、麻酔科と研修させていただいております。各科で研修をしていく中で患者さまと接し、教科書でしか読んだことがなかった身体所見を初めて目の前にした

り、先生のご指導のもと治療の目標や計画を考えたりと貴重な経験をさせていただいております。また、循環器内科では心工コー、消化器内科では腹部工コー、麻酔科ではマスク換気や気管挿管など各科で学ばせていただける手技も多く、上手くないこともありますが、先生方にアドバイスをいただきながらチャレンジしたり、研修医1年目の同期と知識や手技のコツを共有しています。これらの経験を他の診療科の研修や救急外来で生かし、一つずつでもできることを増やしていけたらと思っています。

患者さまと接し、先生方やスタッフの方々にご指導いただくことで、この場に書き切れないほどの学びがあり、充実した研修生活を送っております。未熟さゆえにご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、自分が成長できるのは周囲の方々のおかげであることを忘れず精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

臨床研修医

たぐち ゆいり
田口 結理



こんにちは。研修医一年目の田口結理と申します。久留米大学を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修医をさせていただきます。

業務に関して最初は何もできない状態から始まり、緊張と初めての経験であつという間に過ぎていった半年弱でした。先生方やスタッフの皆様にご迷惑をおかけしながらもとても充実した研修生活を送っています。

私は外科から研修をスタートしました。実習とは違って縫合やカメラを持たせていただくなど手術の一員として参加させていただき、教科書や検査画像で見ていた疾患が実際どのように見えるのか、慣れ

てくると手術手順として次はどこを映せば良いのかなど考えながら参加するのが面白かったです。また、カルテの書き方、処方・オーダーの仕方、退院転院時のお手紙の書き方など業務の基礎を教えてくださいました。呼吸器内科では胸腔ドレーン留置、胸腔穿刺、CVルート確保、気管支鏡をはじめとした手技や病棟管理について熱心にご指導いただきました。毎回フィードバックをいただき回数を重ねるごとにコツを得ていく実感があり、少しずつですが安定していく手技に喜びを感じました。病棟管理では10人以上の患者さま一人一人を適切に把握し全身状態の変動に合わせて内服、注射の内容を考え、検査・オーダーなどの治療計画を立てていくことを大変難しく感じました。また自身のアセスメントを立てる力の低さに反省の日々でした。続いて糖尿病内分泌代謝内科では糖尿病、電解質異常、内分泌疾患の患者さまを中心に担当させていただきました。症状や問診からあらゆる可能性を検討し進めていく診断過程が丁寧で先生方の知識量と鑑別診断をあげる力に圧倒されました。

まだまだ未熟で反省、勉強に動い日々です。早く医療者として皆様のお役に立てるようこれからも精進して参ります。2年間どうぞよろしくお願いたします。

2022年10月研修のご案内

第55回 診断と治療－最新の基礎公開講座－ 〔日本医師会生涯教育講座2.5単位認定〕

日時▶10月1日(土) 15:00～17:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

座長 魚返外科胃腸科医院 院長 魚返 英寛 先生

「熊本県のがん診療最前線」

- (1) 有明地域におけるがん診療連携の新たな取り組み
荒尾市民病院外科診療部長／緩和ケア内科部長 濱口 裕光 先生
- (2) 人吉の在宅緩和ケア
JCHO人吉医療センター緩和・在宅医療部長 渡邊 龍太郎 先生
- (3) 腫瘍内科が構築するがん総合診療の現状
国立病院機構熊本医療センター腫瘍内科副部長 榮 達智

二の丸モーニングセミナー

日時▶10月6・13・20・27日(木) 8:15～8:45
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

熊本県臨床衛生検査技師会一般検査研究班月例会【WEB】

日時▶10月13日(木) 18:30～20:00

第284回 月曜会(内科症例検討会) 〔日本医師会生涯教育講座1.0単位認定〕

日時▶10月17日(月) 19:00～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

- 1 消化器内科からの一例 2 脳神経内科からの一例

第148回 総合症例検討会(CPC) 〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

日時▶10月19日(水) 17:30～18:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の初回化学療法導入の経過で心肺停止を来した一例」

第51回 ナースのための心電図WEBセミナー【WEB】

日時▶10月22日(土) 9:30～14:30

- 〈講演1〉 心電図の基礎 国立病院機構熊本医療センター循環器内科部長 田山 信至
〈講演2〉 各種心疾患における心電図 国立病院機構熊本医療センター診療部長 藤本 和輝
〈講演3〉 不整脈 すえふじ医院 院長 末藤 久和 先生

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶10月25日(火) 19:00～21:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室1

熊本県臨床検査技師会・病理細胞部門【WEB】

日時▶10月27日(木) 18:30～20:00

※今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえ、急遽中止させていただく場合がございます。
最新の情報は当院ホームページでご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶



第28回 国立病院機構熊本医療センター医学会の開催と演題募集のご案内

第28回国立病院機構熊本医療センター医学会が2023年1月21日(土)に国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター大ホールにて現地開催で開催されます。(日時、場所、開催形式については変更になる場合がございます。その場合、当院ホームページ、くまびょうNEWSでお知らせいたします。)

例年通り病院全体の職種が参加し発表します。

開放型病院登録医の先生方や施設のスタッフの方にも是非ご発表頂きたく演題募集をさせていただきます。

応募方法は演題抄録をCDRまたはUSBメモリに入れて下記宛てにご送付頂くか、e-mailにてご送信下さい。

多数のご参加をお待ち致しております。

抄録提出締切日：2022年11月16日(水)

- 抄録には、演題名、所属、発表者、共同演者、本文を記述してください。
- 本文は【目的】【方法】【結果】【総括】、症例報告は【目的】【症例】【経過】【考察】にそって記述して下さい。本文は600字以内にして下さい。
- 図表の使用はできません。半角カナは使用できません。
- 尚、発表は原則としてPCで、使用ソフトはパワーポイントで作成したものに限りです。
- 発表時間は6分、討論3分です。
- 参加費は無料です。

お問い合わせ・送付先：〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
国立病院機構熊本医療センター医学会運営

臨床研究部長 富田正郎
事務局 高橋和恵

TEL:096-353-6501 FAX:096-325-2519 E-mail:takahashi.kazue.ck@mail.hosp.go.jp

患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和4年10月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 真久	達智 道弘 榮井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 裕大 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記		名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)
	感染症内科	小野 宏	小野 宏			小野 宏	小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 達智 博隆	境 健爾 達智 博隆	境 健爾	境 健爾 達智 博隆		
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 佐々木 大亮	杉 和洋 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 大亮	松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 松田 暖 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 大亮 山本 祐弥	杉 和洋 松山 太一	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	田山 信至 山下 裕章 (新患) 木村 優一 (新患)	藤本 和輝 拓光 (隔週 新患) 奥野 佑樹 (隔週 新患)	片山 哲治 (新患) 日下 裕章	田山 信至 (新患) 友宏 長倉 拓光 奥野 佑樹	和輝 (新患) 片山 哲治 木村 優一	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 健実 岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めての方 2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	大塚 ゆかり	水上 智之	水上 智之	小山 真輝	
	免疫	水上 智之		水上 智之 担当医			
	血液	右田 昌宏				右田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 谷崎 卓実	野元 大地	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	斉藤 大嗣 大塚 忠弘	
	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智和 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		園武 茜		富野 航太	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 東 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか 坪木 純子	山本 直 小林 克	手術日	高木 みか 坪木 純子	山本 直 小林 克		
感覚器センター (眼科)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	草場 雄道	担当医 (手術日)	牧野 公治	
	再診 (その他 初診)	中原 智史 草場 雄道	牧野 公治 山村 愛	中原 智史 草場 雄道		牧野 公治 山村 愛	
形成外科	(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 大島 秀男 石田 拓也 大塚 駿太		
放射線科	治療 (予約制) 画像診断	富高 悦司、山田 茂雄 根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)	休診				(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科	森 久美子 (隔週) 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈 前田 顕誠 (隔週)	中島 健 森 久美子 谷口 広祐 (隔週) 中川 文雄 中尾 美文 早川 真奈 (隔週)	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈		
救命救急センター	櫻井 聖大 橋本 克孝 山田 周 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹		
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師		
	がん看護	専門看護師 (午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師		
薬剤師外来	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師		
	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注) 担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R4/10/1